

## 第4回 RINK 釧路まちづくり交通戦略会議 意見要旨

■日 時：2021年（令和3年）1月21日（木）15時～16時30分

■場 所：釧路市観光国際交流センター 2階 視聴覚室

■出席者：構成名簿のとおり

■議 題

(1) 都心部地区交通戦略（素案）について

(2) 来年度の都心部地区交通戦略の進め方について

(1) 都心部地区交通戦略（素案）について

（くしろ北大通商店街振興組合 佐藤委員）

○「戦略1. 街路空間のウォークブル化」は、商店街が主体になる方策があると考えているが、道路管理者と連携した「除雪体制の充実」は欠かすことができない。除雪をしっかりと行いながら、例えば、自然エネルギーなどの新エネルギーを活用する融雪方法を検討すべきと考える。また、新エネルギーの活用は、将来のスマートモビリティの導入とも非常に親和性が良いと考える。

○「街路空間を活用した社会実験」については、これまで歩行者天国を行ってきただけで感じるころは、商店街の人手が減っている状況で、イベントの開催のための机や椅子等の備品を大量に運搬することが難しくなっている。備品をすぐに運搬できるよう、近くに備品を備蓄できるような環境をしてもらえると有難い。また、飲食を屋外に展開する場合、水道や電気が必要になるので、そのような環境整備があると良いと考える。

（高野進行役）

○札幌市の目抜き通りのロードヒーティングの費用は、商店街で負担しており、その方法を北大通に適用するのは、なかなか難しいと考える。まずは、短期的に、除雪体制の充実を検討し、将来の融雪方法について検討していきたい。

○街路空間を活用した社会実験は、来年度以降その内容で決まってくるので、内容を精査し、環境整備を検討していきたい。

（法政大学 高見委員）

○釧路市独自のウォークブルを進めるにあたり、ヒーティングの検討についてぜひ知恵を絞っていただきたい。その費用を他都市のように、商店街が負担するのは難しいと考えるが、重みのあるウォークブル施策を推進するべきと考える。

○「街路空間を活用した社会実験」で提案している屋内のバス待ち環境整備については、自動車からバスへの転換を促すものなので、相当に力を入れてやるべきだと考える。室内空間で座ったままバスを待ち、案内を見て外に出てバスに乗れるぐらいの環境整備は行うべき。

(法政大学 高見委員)

○「戦略2. 公共交通の利用促進」のハイグレードなバス待合環境の整備について、寒冷地としての北海道の事情を考えると、室内的に使用できるものではないと機能しないと考える。また、商店街の店舗の一部を待合空間にするなどの環境整備を行えば、地域らしさが出てくるとのではないかと考える。

○先行できる施策は鋭意進め、残るは鉄道高架事業だけという進め方が、鉄道高架事業の進捗を早める戦略であると考え。そのため、バス路線網の再編などについては、将来に向けて準備を進め、今から地域に活力が生まれるような仕掛けが必要と考える。

(高野進行役)

○バス待合機能については、コンビニに機能を持たせている事例がある。北大通の沿道の店舗についても、運用次第ではすぐ可能かもしれないので、釧路らしいグレードの高いバス待合環境を検討する必要がある。

○空港行きルート of バス停留所の増設や商店街と連携したチケット配布と連動して、実験的に展開するのが望ましいと考える。

(釧路駅西商店街振興組合 柿田委員)

○空き店舗を使った待合室について、和商市場にも空きスペースがあり、観光客などが利用している。例えば、和商市場前に新たに空港行きバス停留所を設置すれば、その空きスペースを待合室に変えることができる。また、デジタルサイネージでのバス時刻の周知についても、行政で設置していただければ、即座に実現可能である。ハード整備はなかなか時間を要するものだが、このような施策は鋭意進捗させるべきと考える。

(北海道警察釧路方面本部 松浦委員)

○新設するL型のバス専用道路について、駅前南浜町通とT字路の形状になるが、現段階での道路網では、信号交差点が近接しすぎており、信号機をつけることはできない。

○賑わいのためにL型の形状を検討されているが、交通の円滑を図り、利便性を高める視点が必要であると考えているので、今後、複数案を検討されたい。

(事務局)

○道路網の形状については、来年度以降に概略設計に着手する。事務局としては、L型のバス専用道路を基本に、鉄道高架後の自動車の流れ、信号処理、交通処理の在り方を検討していきたいと考えているので、引き続きご協力をお願いしたい。

(釧路商工会議所 杉村委員)

○「戦略3. ゲートウェイとしての釧路駅周辺整備」について、オープンスペースの整備を位置付けているが、ただ単に大きいスペースを作るとするのは非常にもったいないと感じている。

(高野進行役)

○一般的に「オープンスペース」と聞くと「何もない空間」に感じるので、そのスペースに施設や機能を導入するような戦略にする必要がある。

(法政大学 高見委員)

○全国に多目的広場が多く整備されたが、使われていない現実があるので、「誰が・どう使うのか」のオペレーションが必要である。

○帯広市の鉄道高架に携わった際に多目的広場を計画した。屋根付き広場として計画したが、屋根は整備されなかった。では、屋根があれば良いのかと考えると、例えば、旭川市の買い物公園には、ガラス箱があるが、あまり活用されていない。やはり、寒冷地での空間利用というのは難しいと感じている。一方で、旭川駅のイオンに接続する屋内スペースには賑わっている。人を呼び込むことが出来る公共広場の在り方について、今後時間を掛けて議論したいと考えている。

以上

■RINK釧路まちづくり交通戦略会議 構成名簿

(敬称略)

	所属	役職	氏名	備考
1 (進行)	北海道大学 公共政策学連携研究部 兼 工学研究院土木工学部門	教授	高野 伸栄	釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会) 座長
2	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科	教授	高見 公雄	釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会) 委員
3	北海道旅客鉄道(株) 釧路支社	執行役員 釧路支社長	山田 浩司	代理出席:企画・経理グループリーダー 小久保 利厚
4	くしろバス(株)	参事	畑毛 正文	
5	阿寒バス(株)	次長	須田 広伸	
6	釧根地区ハイヤー協会		鎌田 浩宣	
7	釧路商工会議所 地域開発委員会	委員長	杉村 荘平	
8	釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz	センター長	澄川 誠治	欠席
9	釧路第一商店街振興組合		三島 基浩	欠席
10	くしろ北大通商店街振興組合	理事長	佐藤 公一郎	
11	釧路末広仲見世通商店会	会長	岡野 公夫	欠席
12	釧路駅前商店会	幹事	岡部 源三	
13	釧路駅西商店街振興組合	理事長	柿田 英樹	
14	釧路市共栄大通商店街振興組合	理事長	小林 嘉明	欠席
15	若松町商店街	会長	佐藤 利夫	欠席
16	釧路市商店街振興組合連合会	事務局長	小澤 謙次郎	
17	一般社団法人 釧根地区トラック協会	専務理事	野村 和人	
18	一般社団法人 釧路観光コンベンション協会	専務理事	山田 達也	
19	北海道開発局釧路開発建設部道路計画課	課長	三浦 之裕	
20	北海道釧路建設管理部道路課	課長	新田 和宏	
21	北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官	西崎 涉	
22	北海道警察釧路方面本部交通課	課長補佐	松浦 大史	
23	北海道釧路方面釧路警察署	交通第一課長	杉本 考一	欠席
24	釧路市総合政策部都市経営課	課長	藤田 和弥	
25	釧路市総合政策部都市経営課	政策推進主幹	池田 利伸	
26	釧路市総合政策部都市計画課	課長	入江 義信	
27	釧路市産業振興部商業労政課	次長	熊谷 伸勝	
28	釧路市産業振興部観光振興室	室長	鈴木 稔	
29	釧路市都市整備部道路河川課	次長	高橋 一浩	
30	釧路市都市整備部公園緑地課	課長	田中 伸嗣	